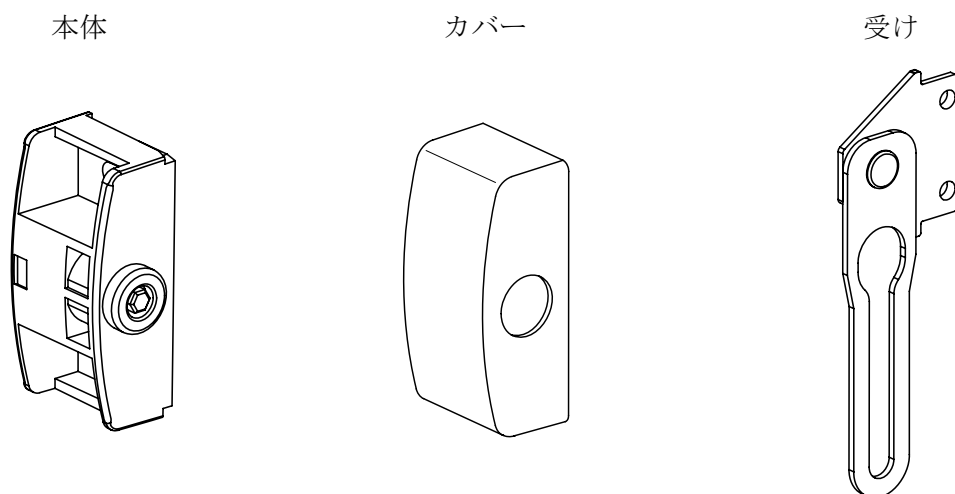


セーフティストッパー引違い用取付要領書



1.構成部品（部品は全て左右勝手兼用です。取付ビスは含まれていません）



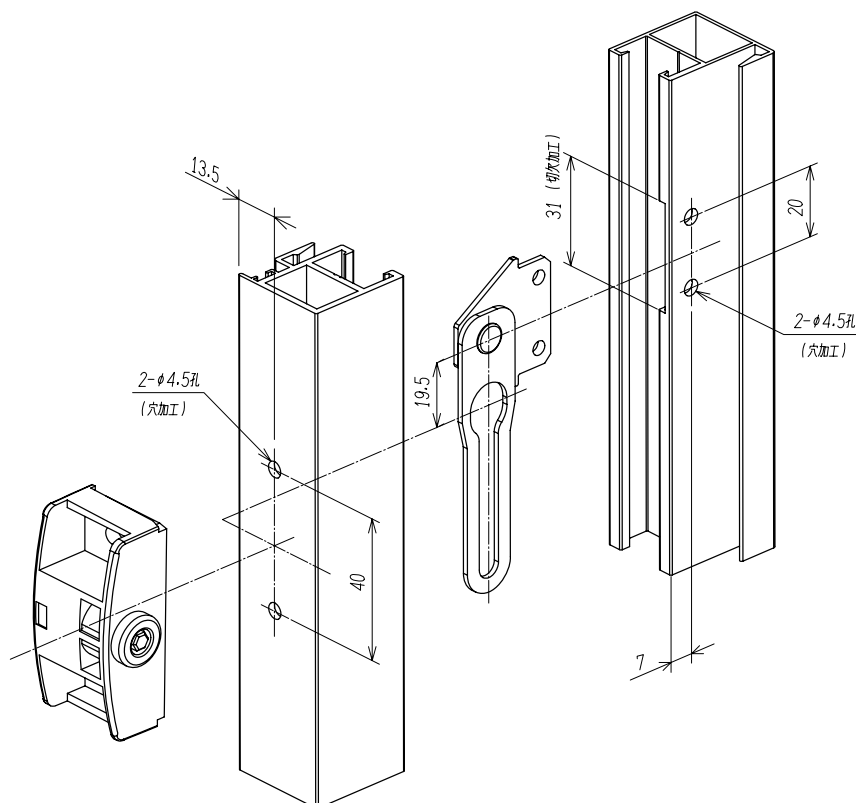
2.取付位置

扉を閉めた状態で、クレセントなど他部品と干渉しない位置に取り付けてください。
取付は本体、受けとも、クレセントと同様の取付方法です。

3.取付用穴、切欠加工

取付穴加工は取り付けるサッシにより異なります。基本的にクレセント、クレセント受け用の加工と同様の穴加工、切欠加工が必要となります。（サッシにより裏板も必要となります）

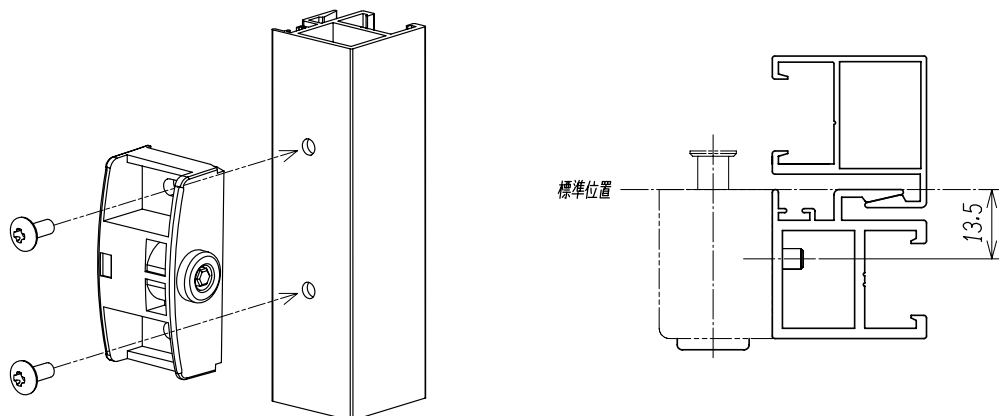
[加工例]



4.取付手順、調整方法

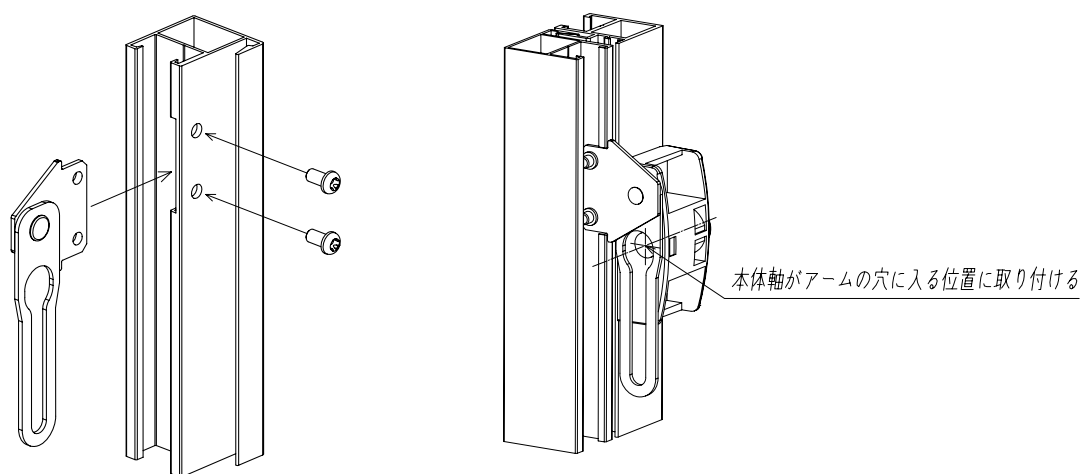
①本体を M4 ビスで仮固定してください。(トラスビス推奨)

標準位置は本体面と障子面が面一になる所です。



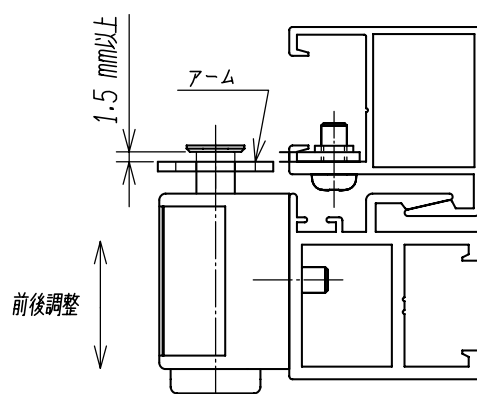
②受けを M4 ビスで外障子に取り付けてください。

このとき、障子を閉じた状態で、本体の軸がアームの穴に入る位置になることを確認してください。



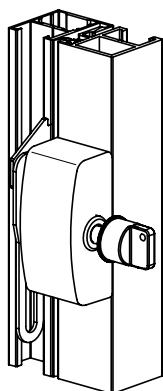
③キーで軸を動かし、軸の掛かり代が 1.5mm 以上になるように本体を前後に調整して本締めをします。

(キー操作方法は次頁参照)

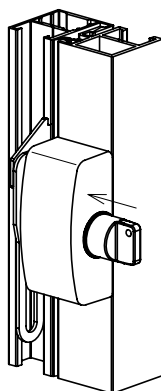


[キー操作方法]

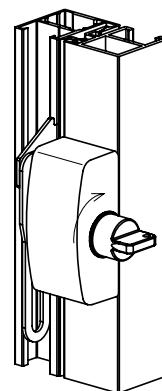
(ロック手順) ※解除は逆の手順です



①キーを穴に合わせます



②止まるまで押し込みます



③時計回りに 90° 回転させます
キーを抜いてロック完了です

5.作動確認

- ・ 下記作動確認項目を確認する前に取付ビスの緩みがないか確認してください。
- ・ キー操作は扉を閉め、クレセントを掛けた状態で行ってください。

[作動確認項目]

- ①クレセントを掛けた状態でキー操作して、軸とアームに干渉がないか確認してください。
- ②クレセントを解除し、スムーズに開口制限ができるか動作の確認を行ってください。
(軸位置がずれている場合はスムーズに作動しないことがあります)
- ③扉を開いたときに内障子と受け取付ビスが干渉していないか確認してください。
(干渉する場合はビス頭が小さいものに変更してください)
- ④開口制限操作をしたときにアームが傾いたり、ずれたりした場合は受けの取付ビスを締め直し、確実に固定してください。
- ⑤調整が終了したら本体にカバーを取り付け、取付完了です。

